

迷路自動作成ソフト「迷作」について (2016. 9. 13)

このソフトは迷路を自動的に生成します。「新規作成」のボタンを押すだけで実行します。迷路は、全体として長方形の形をしていて、左上角の入り口から右下角の出口まで向かうものです。

生成の際、次のパラメーターを調整できます。

1. 「縦置き」か「横置き」か
2. 縦と横のサイズ
3. 1区画の長さ (=「幅」)
4. 正解となる道の長さ

生成した迷路について、次の処理がおこなえます。

1. 迷路は、道を実線で描く「道タイプ」で作成しますが、同じ迷路を、「壁タイプへ」のボタンで、壁に挟まれた道を描くタイプへ変換します。「道タイプへ」のボタンで戻すこともできます。
2. 通常のプリンタで「墨字印刷」できます。
3. 点字プリンタで点図として打ち出せます。
4. 点図としてのデータを、エーデルの点図データであるEDLファイルに保存できます。
5. 実行ファイル (Meisaku.exe) がエーデル (Edel8.exe) が存在するのと同じフォルダに置かれている場合、「エーデルへ」のボタンで、点図としてのデータを、エーデルのクリップボードへコピーできます。この場合、エーデルの「クリップボードから貼り付け」で、そのデータ呼び出せます。

マウスを使わずに、TABキー、上下の矢印キー、及び、Enterキーを使って操作することができます。その際、PC-Talkerなどのスクリーンリーダーを併用すると効果的です。なお、7個のボタンにはホットキーも設定されています。ホットキーは、ALTキーを押しながら押してください。

「迷作」起動後、TABキーで次の12個のボタンなどを巡回します。そして、ボタンの場合はEnterキーを押すとそのボタンを押したことになり、選択窓とラジオボタンの場合は上下の矢印キーを使って設定変更できます。ただし、最も上にある選択肢が表示されているときには上向き矢印キーは無効です。同じく、最も下にある選択肢が表示されているときには下向き矢印キーは無効です。

- ① 「新規作成」のボタン・・・迷路の作成を実行します。ホットキーはN。

- ② 縦サイズを選択窓・・・迷路の縦のサイズを設定します。
- ③ 横サイズを選択窓・・・迷路の横のサイズを設定します。
- ④ 幅を選択窓・・・幅とは、壁タイプときの道の幅のことで、道タイプの場合は1つの曲がり角から隣の曲がり角までの距離のことです。この値を設定します。
- ⑤ 距離を選択窓・・・距離というのは、正解となる道の長さのことです。これを短いものから長いものまで9段階で調節します。「短距離1」では、正解となる道の長さは、入り口から出口までの最短距離となります。長距離3では、正解となる道に枝道がほとんどない状態となりますが、枝道が無くなるわけではありません。
- ⑥ 「壁タイプへ」のボタン・・・これを押す（ホットキーはT）と、すでに描かれている、道タイプの迷路を、迷路としての形を変えずに壁タイプに変更します。壁タイプが描かれているときは、このボタンは「道タイプへ」となり、これを押すと道タイプに戻ります。
- ⑦ 「墨字印刷」のボタン・・・これを押す（ホットキーはI）と、「プリンタの設定」ダイアログボックスが現れます。それで、再度Enterキーを押すと印刷を実行します。
「横置き」の迷路を墨字印刷する場合は、「プリンタの設定」ダイアログボックスにおいて、TABキーで「縦」のラジオボタンにフォーカスを当て、下向き矢印キーで「横」に変更してから、「OK」ボタンでEnterキーで押します。
- ⑧ 「点字印刷」のボタン・・・これを押す（ホットキーはP）と、「迷路の点字印刷」ダイアログボックスが現れます。それで、再度Enterキーを押すと点字印刷を実行します。
ただし、点字プリンタとの接続が正しく準備されていなければなりません。
- ⑨ 「点図保存」のボタン・・・これを押す（ホットキーはS）と、「点のサイズと間隔」を設定するためのダイアログボックスが現れます。ここでTABキーと矢印キーを使って点のサイズと間隔を設定し、「OK」ボタンでEnterキーを押すと、「現在画面の点図迷路をEdel Paperに保存」するためのダイアログボックスが現れます。
ここで、保存ファイル名を書き込み、「OK」のボタンでEnterキーを押すと、EDLファイルとして保存されます。
- ⑩ 「エーデルへ」のボタン・・・これを押す（ホットキーはC）と、現在画面の点図迷路としてのデータを、直ちにエーデルのクリップボードにコピーします。その後、「確認」の窓が出ますので、「OK」でEnterキーを押してください。
- ⑪ 縦置き・横置きのラジオボタン・・・「縦置き」が選ばれているときは下向き矢印キーで「横置き」に変更できます。同じく、「横置き」が選ばれているときは上向き矢印キーで「縦置き」に変更できます。
- ⑫ 「終了」のボタン・・・これを押す（ホットキーはE）と、「迷作」を終了します。

このソフトは C++ Builder XE でコンパイルしました。著作権は下記のものにあります。

779-3122 徳島市国府町府中552 藤野稔寛

E-Mail edel-plus@ktd.biglobe.ne.jp

TEL 088-642-0434